

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (防災・安全交付金)

平成29年3月15日

計画の名称	沿岸地域における津波から市民を守る減災防災まちづくり (防災・安全)					重点配分対象の該当	○											
計画の期間	平成28年度～平成29年度 (2年間)		交付対象	御前崎市														
計画の目標	御前崎市は、静岡市と浜松市のほぼ中間に位置し、北部は牧之原台地から続く丘陵地帯、南部は御前崎灯台の建つ岬から掛川市境までの遠州灘海岸の砂丘地帯など約15kmの海岸線を有し、また、岬から牧之原市境まで御前崎港など駿河湾に面した約4.5kmの海岸線を有する静岡県の最南端の総面積65.86km <sup>2</sup> の市です。御前崎市では、静岡県第4次地震被害想定に基づき、平成26年度に策定した「御前崎市津波避難計画方針書」において、津波到達予測時間内に浸水区域外や津波避難施設に避難できない避難不可能人数は216人と推定されています。このような状況の中、沿岸地域における津波から住民等を守るため、「御前崎市地域防災計画」及び「御前崎市津波避難計画方針書」に基づく災害に強いまちづくりを進めるとともに、静岡県第4次地震被害想定による津波浸水想定区域内の減災対策を優先的に進め、一人でも多くの命を救うための事業を実行していきます。																	
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市津波避難計画方針書で避難不可能人数が多く存在する池新旧地区において、津波到達予測時間内に避難できる一時避難施設を確保し、当該地区の避難不可能人数の解消を図る。</li> <li>・市津波避難計画方針書の避難不可能人数と多くの観光客等が予想される御前崎地区において、津波到達予測時間内に避難できる避難施設を整備し、当該地区の避難不可能人数の解消を図る。</li> </ul>																	
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値		備考										
						当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H29末)	・国土強靱化地域計画に基づき実施される要素事業：A1全て									
						110人		0人										
	H27池新旧地区避難不可能人数 110人 H28池新旧地区避難不可能人数 0人																	
	H27御前崎地区避難不可能人数 32人 H29御前崎地区避難不可能人数 0人					32人		0人										
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	195 (百万円)	A	195 (百万円)	B	-	C	-	D	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%							
交付対象事業																		
A1 市街地整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び施設種別	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
1-A1-1	防災	一般	御前崎市	直接	御前崎市	都市防災	都市防災総合推進事業 (池新旧地区)	津波避難タワー 1箇所	御前崎市	H28	H29	H30	H31	H32	150		-	
1-A1-2	防災	一般	御前崎市	直接	御前崎市	都市防災	都市防災総合推進事業 (御前崎地区)	津波避難路 1路線	御前崎市						45		-	
										小計 (都市防災・公園事業)					195		-	
C 効果促進事業																		
C1																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
C1-1										H28	H29	H30	H31	H32				
										小計								
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考					
C1-1																		
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者		要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
										H28	H29	H30	H31	H32				
										合計								
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考					

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (防災・安全交付金)

平成29年3月15日

計画の名称	沿岸地域における津波から市民を守る被災防災まちづくり (防災・安全)			重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成 28 年度 ~ 平成 29 年度 (2年間)	交付対象	御前崎市		
計画の目標	御前崎市は、静岡市と浜松市のほぼ中間に位置し、北部は牧之原台地から続く丘陵地帯、南部は御前埼灯台の建つ岬から掛川市境までの遠州灘海岸の砂丘地帯など約15kmの海岸線を有し、また、岬から牧之原市境まで御前崎港など駿河湾に面した約4.5kmの海岸線を有する静岡県の最南端の総面積65.86k㎡の市です。御前崎市では、静岡県第4次地震被害想定に基づき、平成26年度に策定した「御前崎市津波避難計画方針書」において、津波到達予測時間内に浸水区域外や津波避難施設に避難できない避難不可能人数は216人と推定されています。このような状況の中、沿岸地域における津波から住民等を守るため、「御前崎市地域防災計画」及び「御前崎市津波避難計画方針書」に基づく災害に強いまちづくりを進めるとともに、静岡県第4次地震被害想定による津波浸水想定区域内の減災対策を優先的に進め、一人でも多くの命を救うための事業を実行していきます。				

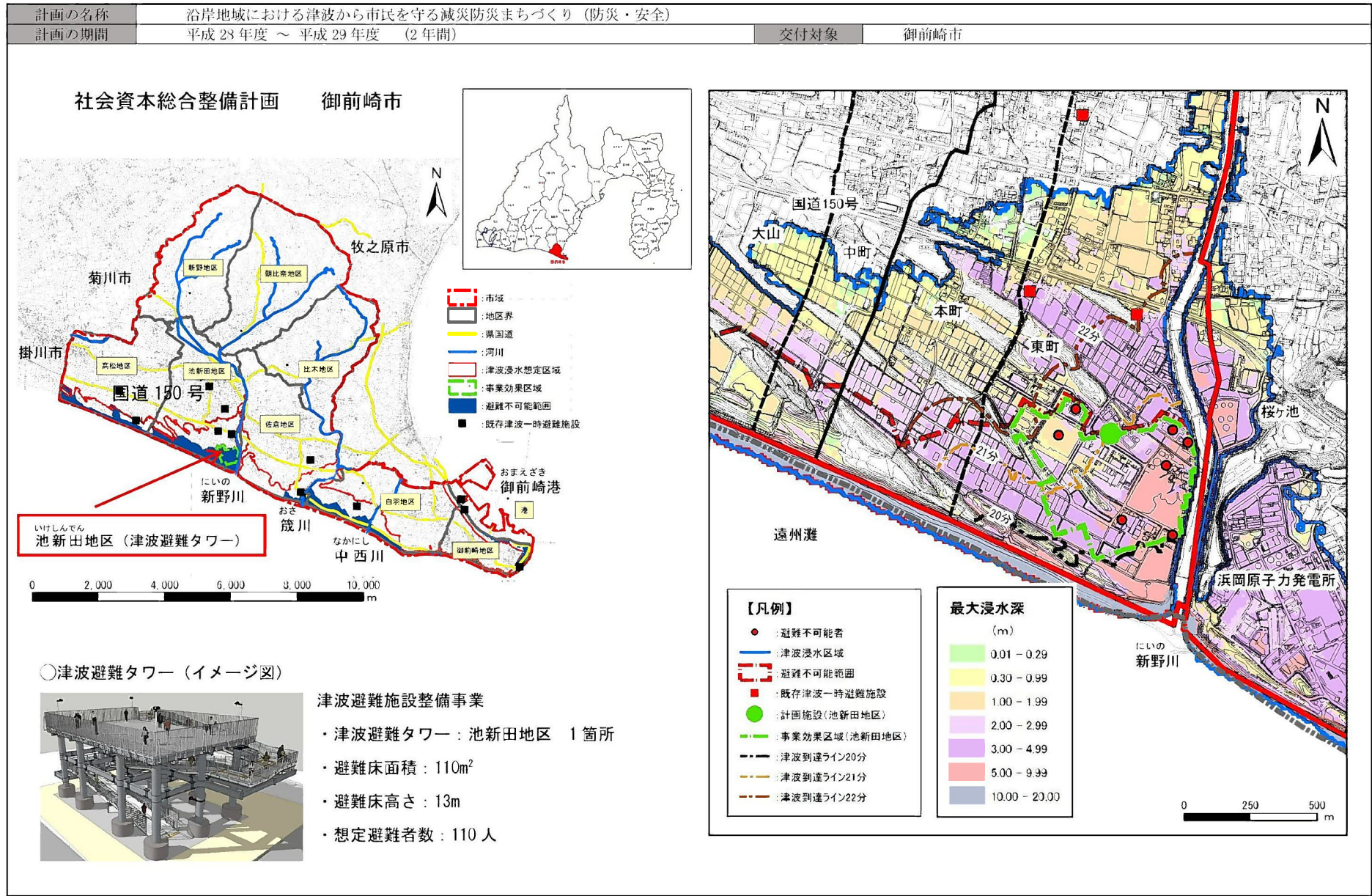
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30	H31	H32
配分額 (a)					
計画別流用 増△減額 (b)					
交付額 (c=a+b)					
前年度からの繰越額 (d)					
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)					
未契約繰越 + 不用率 (h = (g+h)/(c+d))					
未契約繰越 + 不用率が10%を超えている場合その理由					

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)



(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)

